

“誰もが安心して暮らせるまちづくり”

それを目指すのが、湯河原町地域福祉活動計画です。

「困っていることがあります…。」

「何か役に立てることがあるでしょうか…。」

そんな願いや思いが重なって、
みんなが笑顔ですごせる町にしたい。



えがお 第9号

“えがお” は町民の皆様と協働で、身近な福祉を考える参画の場です。
湯河原町地域福祉活動計画推進情報と併せて、皆様のお話やご意見などを集約して、
年2回発行いたします。

発行：社会福祉法人湯河原町社会福祉協議会
編集：湯河原町地域福祉活動計画推進委員会
(平成31年4月発行)

福祉意識の向上について ～肩の力をぬいて、気軽に考えてみましょう～

「困っている人を手助けしたい。」「何か役に立てることはありますか？」
…って思っている、実際にはどうすればいいのでしょうか？



真っ先に思い浮かぶのがボランティア活動への参加。しかし…、
「時間に余裕がない」、「内容がわからない」、「知識がない」
そんな理由から遠慮してしまう。それに…、
「拘束される」、「参加しづらい」といったイメージも…。

結論で言えば、ボランティア活動は義務ではありません。自分のできる範囲で無理のないように行っていただくもので、決して強制ではありません。知識がなくても活動を通じて学ぶことができます。気楽に参加してください！

ボランティア活動は福祉意識向上・参画の一つの手段です。今は様々な方法で、いろいろな情報を得ることができます。そうした環境の中で、地域福祉について気になる情報があったとします。そうした情報を心に留めておくことも福祉意識の向上につながります！

大切なことは、必要とされる時に行動ができるかだと思います。

普段の生活の中で気になったこと、参考にしたいと思うことがあれば、それを心に留めて、必要とされる時に役立てましょう！



(まとめ)

- ボランティア活動は先入観よりも、肩の力を抜いて、できる範囲で参加してみましょう。
- 気になったこと、参考にしたいと思うことがあれば、心に留めておいて必要な時に役立てることも福祉意識向上です。